

# 決算説明資料

2025年12月期 第3四半期実績  
(2025年1月1日～2025年9月30日)



2025年11月14日



倉元製作所 5216



株式会社倉元製作所  
KURAMOTO

# 2025年12月期 第3四半期累計実績（連結）業績概況

2025年12月期 第3四半期 売上高・利益

金額単位：百万円

	2024年12月期 第3四半期累計 (単体)	2025年12月期 第3四半期累計 (連結)	前期比	前期比 増減率	2025年12月期 通期予想 (連結)
売上高	861	1,758	897	104.2%	2,200
営業利益	40	△289	△329	-	△400
経常利益	4	△320	△324	-	△450
当期純利益	14	△374 *1	△388	-	△500
EBITDA *2	79	42	△37	-46.8%	

\*1 2024年11月より連結開始。2025年12月期第3四半期は、親会社株主に帰属する当期純利益

\*2 EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）

## 2025年12月期 第3四半期売上高・利益比較

(単位：百万円)



## <2025年12月期 第3四半期累計実績（連結）>

- ◆ トップラインの売上高は、前年同期（単体決算。以下同じ）比104.2%増の1,758百万円への成長となりました。
- ◆ 営業利益は2024年11月にアイウイズロボティクス社を株式交換による子会社化及びUNOクォーツからの石英事業の吸収分割に伴う、のれん償却を298百万円を計上したことにより、前年同期比329百万円減の△289百万円となりました。
- ◆ 経常利益は、事業構造改革の一環として2024年に実施した成膜事業撤退に伴い遊休となっている花泉工場の減価償却費、固定資産税及び管理費用等に係る遊休固定資産費用21百万円、その他16百万円（うち過年度ADR債務免除修正損4.5百万円、資金調達関連支払手数料9百万円等）を計上したことにより、324百万円減の△320百万円となりました。なお、花泉工場の遊休資産は、ペロブスカイト太陽電池事業で活用する計画です。
- ◆ 親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比388百万円減の△374百万円となりました。
- ◆ EBITDA（営業利益＋減価償却費＋のれん償却額）は前年同期比37百万円減の42百万円となりました。

# 2025年12月期 第3四半期累計 セグメント別（連結）業績概況

## セグメント別 売上高・利益

金額単位：百万円

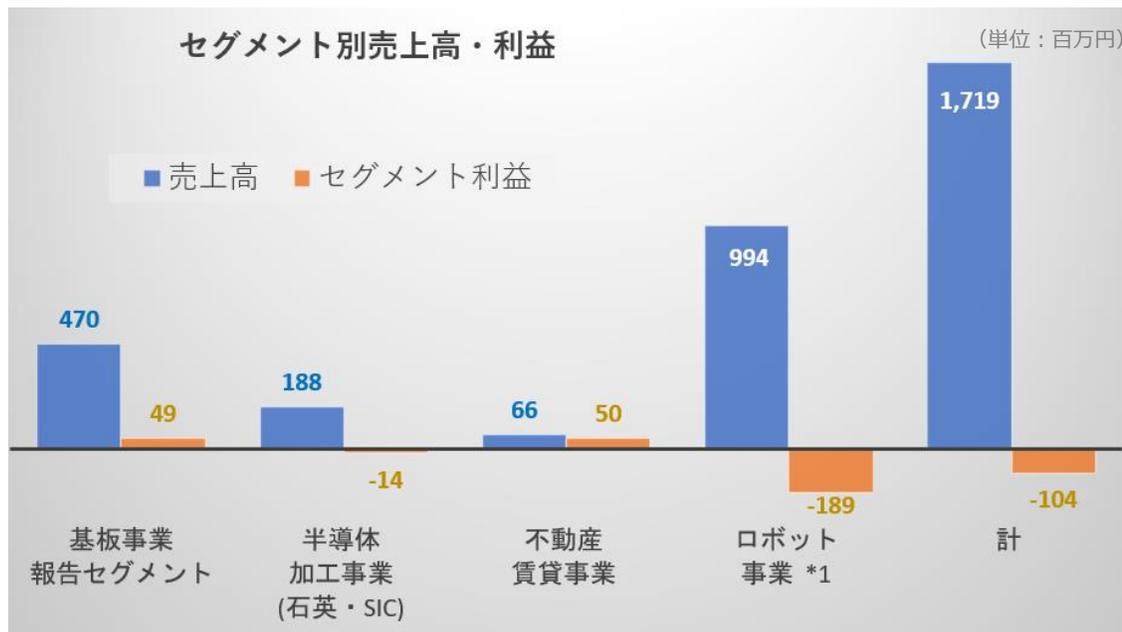
	報告セグメント					その他 *2	共通費 *3 調整額	連結財務 諸表計上額
	基板事業	半導体 加工事業 (石英・SiC)	不動産 賃貸事業	ロボット 事業 *1	計			
売上高	470	188	66	994	1,719	46	-7	1,758
(構成比)	(27.3%)	(10.9%)	(3.8%)	(57.8%)	(99.9%)			
セグメント利益 *4	49	-14	50	-189	-104	18	-203	-289
(売上高利益率)	(10.4%)	-(7.4%)	(75.8%)	-(19.0%)	-(6.1%)			

\*1 ロボット事業は、子会社で展開しており、2024年11月から連結しております。

\*2 その他は、Lark事業及び派遣事業であります。

\*3 共通費は、各セグメントに帰属しない全社費用です。

\*4 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



## <セグメント別 売上高>

- ◆ 基板事業（研磨研削）の売上高は、前年同期の581百万円から、当四半期（累計）は470百万円と減収となりました。主な要因は、市場縮小による受注減によるものです。
- ◆ 半導体加工事業の売上高は、石英加工事業が前年同期の203百万円から当四半期（累計）は188百万円と減収となりました。
- ◆ 不動産事業の売上高は、前年同期77百万円から、電気料金の賃貸先への請求方法の変更により、当四半期は66百万円と減収となりました。
- ◆ ロボット事業は、2024年11月から連結により計上しております。当四半期の売上高は994百万円、セグメント利益は、のれん償却293百万円計上したこと等により△189百万円となりました。

※ セグメント利益の前年比較は、前期第4四半期より連結決算を開始しており、前期第1～第3四半期は単独決算のため行っておりません。

# 財務状況の実績推移 2023年～2025年第3四半期

【貸借対照表（要約）】

単位：百万円

	2023年 12月期 単独	2024年 12月期 連結	2025年 12月期 第3四半期末 (連結)
<b>資産の部</b>			
<b>流動資産</b>	<b>264</b>	<b>1,358</b>	<b>621</b>
現金預金	51	639	207
受取手形及び売掛金	109	466	104
商品、製品及び原材料	82	158	234
その他	22	92	74
<b>固定資産</b>	<b>852</b>	<b>3,297</b>	<b>3,744</b>
有形固定資産	850	1,343	2,003
無形固定資産（のれん他）		1,939	1,714
投資その他の資産	1	14	26
<b>資産合計</b>	<b>1,117</b>	<b>4,655</b>	<b>4,366</b>
<b>負債・純資産の部</b>			
<b>流動負債</b>	<b>548</b>	<b>683</b>	<b>514</b>
支払手形及び買掛金	21	73	102
短期借入金	293	359	249
その他	233	251	163
<b>固定負債</b>	<b>371</b>	<b>229</b>	<b>409</b>
長期借入金	280	164	355
その他	91	64	53
<b>負債合計</b>	<b>919</b>	<b>912</b>	<b>923</b>
<b>純資産</b>	<b>197</b>	<b>3,742</b>	<b>3,442</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,117</b>	<b>4,655</b>	<b>4,366</b>

## ＜貸借対照表（連結） 2025年9月末＞

◆ 総資産4,366百万円。主な内訳は、現金及び預金207百万円、受取手形及び売掛金137百万円、土地534百万円、建設仮勘定909百万円※、のれん1,622百万円等※。

※ 建設仮勘定は、ペロブスカイト太陽電池量産設備及びロボット組み立てライン設備（いずれも期末時点で未稼働）の投資額のうち既支払額です。

※ のれんは、主に、アイウイズロボティクス社を株式交換により100%子会社化したことによる超過収益力の評価額です。

◆ 負債合計は、923百万円。主な内訳は、支払手形及び買掛金102百万円、短期借入金50百万円、1年以内返済予定の長期借入金199百万円、長期借入金355百万円等。

◆ 純資産は、3,442百万円※。

※ 2023年12月末からの主な増加要因は、2024年の第三者割当増資、新株予約権の行使による増加とアイウイズロボティクス社との株式交換及びUNOクォーツ社の吸収分割により、あらたに株式を発行して交付したことによるものです。



# 財務状況の実績推移 2023年～2025年第3四半期末

## 手元現預金・売掛債権残高

(単位:百万円)

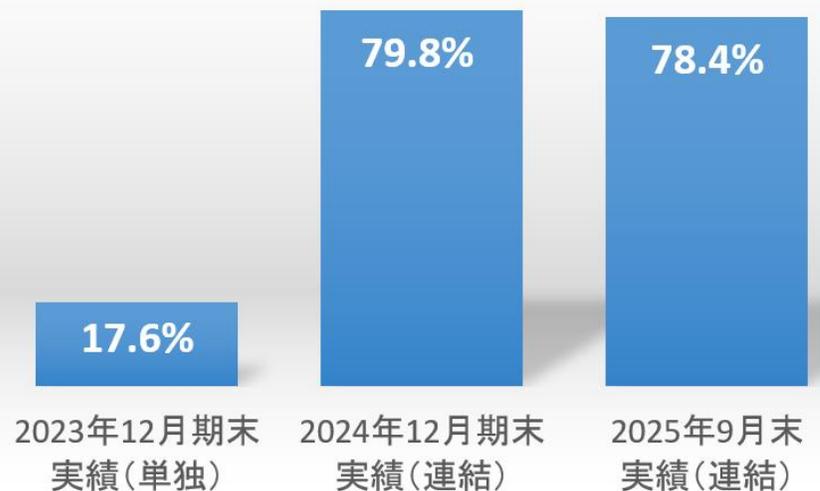


## 有利子負債残高

(単位:百万円)

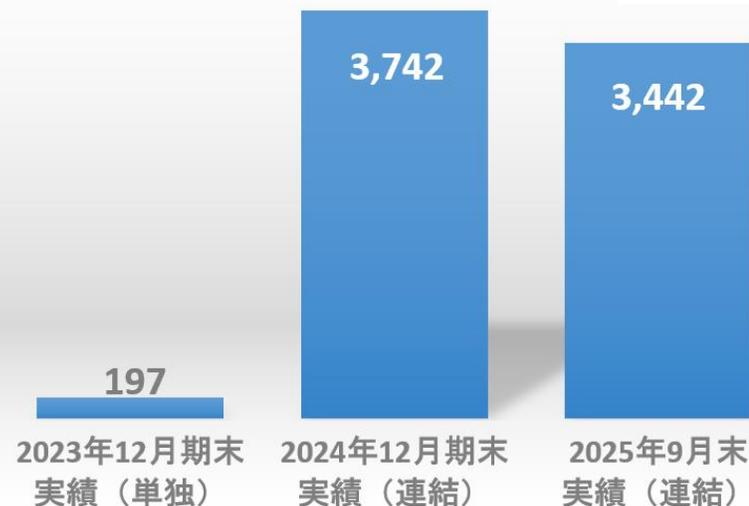


## 自己資本比率



## 純資産

(単位:百万円)



# CREATING THE FUTURE

ビジネスを  
通じて

半歩先行く技術と商品力で未来を創る

ビジョン  
目指すところ

世界の最先端技術を取り入れ  
日本のモノづくりの原点に回帰し、ヒト・モノ・カネの  
良い循環を生み出し、未来に向けて進化する

組織の理念は

全社員が  
情熱を持って

全社一丸となれる組  
織の仕組を持つ

モノづくりの  
プロ集団